



築き上げてきた先人に感謝 地域農業維持への使命感胸に



輝くみらい人

常盤基幹支店管内

石澤 光 さん (36歳)

いしざわ ひかる

以前は建築会社で働いていた石澤さん。ちやうど仕事が空いた時期に、両親の高齢化や地域の人に農地を託されたため、実家の農業を継いだ。

農業を始めてみて、一人で農業はできないと痛感。「地域の人の協力もあるおかげで、労働力も確保することができると話す。また「地域の先人たちのおかげで、市場とのつながりや培ってきた栽培技術を教えてもらいながら今の自分がある」と感謝した。

農業は忙しいけど、自分で決めれることに魅力を感じる石澤さん。「失敗も成功も自分次第。成功したらもちろんうれしい。失敗しても地域の土地を受け継いでいるのでやめることができない。責任を感じながら取り組んでいる。機械類や栽培などの新しい技術を常に勉強しながら挑戦している。失敗したら次につなげるようにしている」と前向きだ。

所得向上をめざし、空いた育苗ハウスではメロンやブドウも栽培する。また、にくはスプレイヤーやハーベスタなど機械化を進めて省力化に努めるなど様々な工夫をし、農業を楽しんでいる。

石澤さんは「地域と人のつながりの大切さを感じる。『儲ける農業』を考えながら、地域の人から託された土地を守り、維持していく必要がある。先人たちが培ってきた技術やブランドを守っていきたい」と話した。

■栽培作物：水稲、にんにく、りんご、その他いろいろ

■農業歴：9年

■家族構成：父、母、妻、子2人

■JAへ一言：市場だけに頼るのではなく、販売先・消費者が求める農産物の情報を生産者に教えてほしい。